

ドロー会議 規定

* 現在この規定はまだ整備中です。2011年度の1年間活用してから正式なものとしします。

1. 所沢市テニス協会では、当協会主催の大会を公平公正かつ効果的に運営するために、日本テニス協会発行の「テニスルールブック」並びに関東テニス協会ジュニア委員会、及び埼玉県テニス協会のドロー作成方法に準拠し、以下の規定を設け、ドロー作成を行う。
2. ドローを作成するために、ドロー会議を設置する。
3. ドロー会議は、以下の事柄を担当する。
 - (1) 大会ドローの作成。
 - (2) 大会日程の決定。
 - (3) 事務局及び大会担当者間の調整。
 - (4) ランキングポイントや戦績の管理。
4. ドロー会議は、理事長以下事務局選出の若干名、大会責任者もしくは代理で構成する。
5. ドロー会議は、理事長が主宰する。
6. ドロー会議は、大会募集締め切り後、出来る限り速やかに開催し、その会議結果を迅速に事務局長まで報告することとし、全体の運営に支障がないようにする。
7. ドローが確定した後に変更することはありません。シード選手欠場によるリドローは行いません。ただ1つの例外はプレーヤーが締切日までに正しくエントリーしたのにも関わらず、当協会側にミスがあった場合だけです。
8. ドローの目的はベストプレーヤーを分け、最後の時まで会わせないようにすることですので、この目的を適切に達成するエントリー者には当協会独自のポイント制度によりランクを設け、ドロー作成の際に参考にする。
9. ランキングは会員番号で管理する。
10. ドローには氏名全部を書くようにする。
11. 基本的に1選手1日4試合までを目標にする。そのためにエントリー数が17~64なら、Best 4迄を決め、16ドロー以下ならば、優勝決定戦まで行うこととする。
12. トーナメントのドロー設定は、所沢市テニス協会ドロー数設定早見表を参照にし、エントリー数によって設定する。
13. ドローの位置は順位によって決定する。(以下これをドロー順位とする。ドロー番号とは単なる通し番号の

こととする。) 例えば 32 ドローでは、第 1 シードが最上段の 1、第 2 シードが最下段の 3 2 となる。その後は、対角に番号を振って行き、結果的にドロー初戦である隣の順位を足すと 33 になるように配置されることになる。

14. シード順位や予選ブロックへの割り振り方法は、申込み締め切り日における所沢市ランキングポイントに基づき、最初にシードの選手を定位置に入れその後機械的に配置する。

15. Bye、ラッキールーザー、パッキングの設定の仕方

- (1) A 大会 (県予選選考会) トーナメントにおける本戦ストレートインのシード選手数は、基本的にはドローサイズの 4 分の 1 程度で最大 8 名とする。
- (2) B 大会 (市民大会) では、原則として本戦トーナメントからの出場は設定しない。予選ブロック数がそのまま本戦ドロー数とする。
- (3) ラッキールーザーは、基本的にドロー数設定早見表の通り 1~3 組までとする。
- (4) 65 組以上のエントリーがあった場合のトーナメントでは、64 ドローサイズの設定を変えずに、パッキングを設けることでドロー表を作成する。
- (5) Bye、ラッキールーザーの設定は、先ず、Bye をドロー順位 (第 1 シードが一番高く 1 位とする) の高い順に行い、この番号の続きからラッキールーザーの設定を同じく順位の高い方から入れていく。
- (6) パッキング設定はドロー順位の高い番号から行い、ラッキールーザーはさらにその中でシード順位の高いパッキングの中に設けることにする。

16. ドロー作成にあたり以下の場合には出来る限り憂慮する。

- (1) トーナメント 1 回戦で、又は予選ブロック内で同じ所属の選手が対戦しないようにする。
- (2) ダブルス優先順位は
 - ①両選手ともポイントを保持しているペア
 - ②ポイントを保持している選手+ポイントを保持していない選手のペア
 - ③両選手ともポイントを保持していない、の順番とし、両選手のランキングを足して数の少ないペアを上位とする。

17 予選ブロックのドロー作成順位は、ランキングに基づき各ブロック均等に行う。一巡目は一番からとしたら二巡目は一巡目とは逆の順番で配置していく。以後、ランキング順位があるところまでそれ手順で行う。残りの順位の定まっていない者は、順次埋まるまで抽選する。

18. 予選を勝ち上がった選手の配置方法は、ラッキールーザー枠を除いた場所に抽選により決める。ラッキールーザーは、予選勝ち上がり枠に欠員が生じた場合には、ラッキールーザー枠と同時に抽選によって決める。

19. その他、これに定めのないものは理事長の判断により決定できる。